

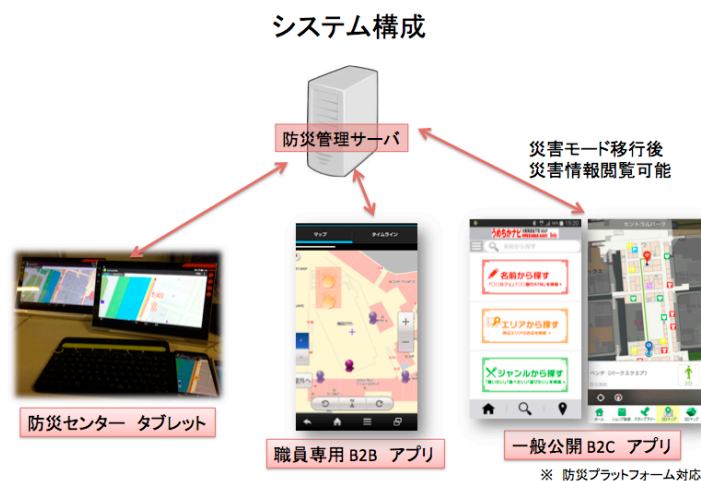
クウジット、G 空間シティ地下災害対策コンソーシアムに参画 都市災害発生時の地下空間における避難情報伝達システムの開発・実証実験に協力

<http://www.koozyt.com/>

クウジット株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:末吉 隆彦)は、G 空間シティ地下災害対策コンソーシアム(代表者:立命館大学 教授・西尾 信彦)に参画し、最先端の ICT を活用した地下空間での災害時情報伝達システムの開発支援、および大阪、名古屋、及び東京の地下空間における実証実験の運営協力をを行います。本事業は、立命館大学が採択されている総務省「G 空間シティ構築事業」の一環として行われます。

今回、新たに開発、実証実験を行う避難情報伝達システムは、次の2つから構成されています。

- (1) 災害情報を管理する防災管理サーバ、およびそれらによって構成される防災プラットフォーム
- (2) 防災センターからの指示や災害情報を配信するアプリケーション群



避難情報伝達システムの構成図

また、実証実験時には、次の3つのアプリを利用します。

- (1) 防災センターで利用するアプリ
災害モードへの移行指示、災害情報の配信、現場職員の位置把握、および指令送信行うことができます。
- (2) 現場職員が携帯し、避難誘導を行う職員専用 B2B アプリ
防災センターからの指令を受けたり、防災センターアプリ同様、他の職員の位置を把握しながら連絡を取りあったり、人流情報を確認できます。
- (3) 一般ユーザが平常時に利用する商業施設 B2C アプリ(防災プラットフォームと連携機能対応)
災害発生時に防災プラットフォームと連携し災害モードに移行し、マップベースの施設内被災情報、およびタイムライン表示をベースとした災害情報をユーザが参照できるようになります。

クウジットは、避難情報伝達システムの設計、および開発マネジメントを担う役割で今回のプロジェクトに参画いたしました。

詳細についてコンソーシアムのプレスリリースをご参照ください。

http://www.ritsumeijp/news/detail_j/topics/?news_id=13174&year=2015&publish=

クウジット取締役 CTO の塩野崎 敦は、下記のように述べています。

「今までのクウジットの位置情報サービス構築・導入の経験を活かし、防災プラットフォーム、すなわち各アプリモジュール・サーバ・連携方法の設計に携わらせて頂きました。測位を始めとしたいろいろな技術を統合し実証実験で利用できるかたちにするためさまざまな工夫がされております。例えば測位方法も選択可能となり、各実験場に応じた ICT の利活用が可能です。今後も防災プラットフォームの発展に貢献させて頂き、オープンな研究成果として世の中に提供することにより、防災以外の B2B 応用も視野に入れ我々のビジネスの一環とさせて頂ければと思っております」

クウジットは、今後も商業施設や空港、文化施設などの実空間を舞台に、ネットワーク技術や、位置情報、AR、センシング技術、IoT/Wearable 等のお互いの技術やノウハウを持ち寄り、リアルとバーチャルを行き来する、わくわくするような体験を提案、創造してまいります。

以上

【このプレスリリースに関するお問い合わせ】

クウジット株式会社 広報 メールアドレス: pr@koozyt.com

【クウジット株式会社について】 <http://www.koozyt.com>

「PlaceEngine」技術を開発したソニーコンピュータサイエンス研究所のメンバーが中心となり 2007 年 7 月に設立されました。リアルとネットをつなぐユニークな技術で、人の行動や体験をデザインし、社会に貢献することを目指しています。「PlaceEngine」技術をはじめとした屋内測位技術や笑顔認識、行動認識などの各種センシング技術、および AR を用いたインタラクション技術を駆使し、ビジネスからエンタテインメント用途までの幅広い技術ソリューションやアプリケーション・サービスの企画・開発・運営を行っています。

* その他の社名、商品名は、各社の登録商標または商標です。